

平成28年度 学校自己評価システムシート (武南中学校)

(A3判横)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

目指す学校像	1 日々の学習学習に支えられた豊かな教養の育成 2 きめ細かな躰・生活指導による優れた人格の育成 3 グローバルリーダーとして必要な人間性と知性の育成
--------	---

重点目標	1 授業の充実・改善 2 開かれた学校づくり 3 進んで行うことができる自主性と学力の向上 4 生活指導の徹底 5 部活動・学校行事等の充実・振興
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	4名
-----	-------	----

学校自己評価								学校関係者評価	
年度目標					年度評価 (3月17日現在)			実施日 平成27年3月17日	
番号	評価項目	現状と課題	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	授業の充実・改善	1 基礎力(1,2年)を身につけさせた上での応用力(3年)の指導 2 生徒の実態を把握し効果的な先取り教育の実施 3 生徒の興味関心を引き出し、伸ばすための授業方法の研究 4 基礎学力を身につけさせるための授業時間確保	1-①教員の資質能力向上を図る研修の実施 2-①国語・数学・英語の先取り教育を実施する 3-①教室訪問・授業参観を行い、よりよい学級づくり授業づくりに取り組み校風を醸成する 4-①予習・復習の奨励と学習時間の確保 4-②提出物指導を徹底する	○全教員の授業観察と観察シート用いた意見交換の実施(5,6月) ○「授業力」自己診断シートに基づく自己分析	・授業観察シートを活用し全員の授業を参観後、個別に指導を行った ・先取り教育を実施し、2年次で中学校数学を終了 ・最低午前1回、午後1回は校内を巡回し、短時間ではあるが授業の参観を行った ・自学習の奨励と提出物の期限を守らせることが担任によって温度差があった	B	・授業観察シートを活用した個別指導をさらに充実させる ・教員相互の授業研究を進め、授業実施上の課題等を共有し各自の指導力を高める ・英語教育の充実発展を図る(英会話の時間を帯状に取る) ・BASL(Bunan Advanced Self Learning)の時間を確保し、生徒の振り返り力を伸ばし学力の向上を図る	・授業観察シートの活用による個別指導は高く評価できる ・過去3年間の授業参観で、授業が変わったという実感を得られない。主体的、対話的な深い学びを目指した学び合い、高め合いの授業こそ私学のPRのメインである ・教員への個別指導の充実は評価できるが、学園全体の学力向上のための具体的な施策が見えてこない	
2	開かれた学校づくり	1 学校説明会・学校公開・入試体験会等々による教育活動の公開 2 近隣小学校との交流活動の拡充 3 組織による通年の生徒募集活動 4 教育活動の情報発信	1-①参加者増を図るため保護者塾関係者に周知する 1-②近隣の塾を中心に教育活動生徒の様子等具体的な説明をする 2-①小学校との連携を重視 3-①川口・蕨・戸田・さいたま市を中心に行う 4-①HPの更新をこまめに行う	○広報を周知し学校説明会学校公開等を実施 ○月1回の中学校便りを蕨市教委・市内小中学校・市内公民館に配布 ○市内行事への積極的参加 ○学年・クラス通信の発行と、7/14以外でのHP更新	・説明会参加者は増えたが、受験までには至らない ・毎月の中学校便りは欠かすことなく配布した ・塚越小との連携を行った ・蕨ロードレース大会参加 ・HPやポータル更新は増えたが更なる努力が必要	C	・学校だよりの配布により、参加者が増えてきている ・学習塾との連携を図り、塾に向いて説明会を実施する等新たな方策を講じる ・HPの更新を週に3回は行い情報を発信していく ・塚越小をはじめ近隣の小学校との連携を深める	・様々な手法でのPRや地域行事への参加等評価できる ・武南中独自の特色を更に訴える必要がある ・今後は武南中の確かな実績を勝ち取り、さらなるアピールの方法が課題 ・学校便りには写真等の工夫を入れ、もっと見る側、読む側へのアピールが必要	
3	進んで行うことができる自主性と学力の向上	1 学習時間の確保を学校全体で取組む 2 朝読書・BASLを確実に行う 3 予習・復習を計画的に行い学力向上を目指す 4 道徳授業の充実を図り、規範意識を高める	1-①小さな時間を積み上げて確保させる 2-①生徒だけではなく学校全体で朝読書を行う 2-②BASLの時間を確実に確保し一日の反省と明日への準備をさせる 3-①長期休業中に実施する学習合宿は習熟度別に行い個々の学力向上を図る 4-①31年度完全実施の教科化を意識させ取組ませる	○学校での学習、家庭学習を積み上げて学習時間を確保 ○入学当初にHR合宿を行い、中学での学習(学習の量、スピード、質)を学ばせる ○portalの活用 ○道徳の研究授業を行う ○生徒による規範意識向上の取組み	・早朝の自学習等々、小さな時間の積み上げが大切であることを全教職員で指導した ・HR合宿、Englishキャンプ、学習合宿を実施し、学習方法を学ばせた ・2年のアジア研修では事前学習を有効的に行った ・講師を招聘し道徳授業について研修を行った	B	・中学生としての学習方法を確実に身につけさせる ・家庭学習をはじめ学年+1時間の自学習を毎日行わせる ・高校進級時の進級テスト(併1の入試問題)は一貫の生徒が外部受験者と合わせ、7番目の成績であった。成績にばらつきがあるので、全員が半分よりも上位で通過するようにする	・生徒自身が弱点と感じる課題を徹底的に学習させる意識改革が必要 ・成績のばらつきについては、家庭学習の見直しや授業の展開が速すぎない等課題である ・学力のばらつきをどのようにして改善して行くかが今後の課題であり、全体的な底上げが必要	
4	生活指導の徹底	1 生徒の課題を把握して問題行動の予防に努める 2 凡事徹底により、規範意識を高める 3 挨拶の励行	1-①教職員の共通認識による攻めの生徒指導を徹底する 2-①授業に取り組む意識の向上を図る 2-②時間を守る・服装を正す等々繰返し指導を行う 3-①挨拶をすることにより、自己の存在をアピールさせる	○登下校の指導を行う ○個々の教師に負担がかからないよう問題を共有し学校全体で取組む ○教職員が率先して行う	・教師の力量に差があるため学校全体としての共通認識が持てなかった ・毎週金曜日に行う中学校の会議で報告連絡は行うことができた ・凡事徹底を教職員が率先垂範することができていない	B	・凡事徹底を強化し、生活規律・学習規律を高める ・事後処理の指導ではなくはなから攻めの生徒指導を行うようにさせる ・各委員会活動を活性化し生徒による自治ができるようにさせる	・教員、生徒共に凡事徹底の励行に期待する ・生徒はよく挨拶ができる ・指示待ちの姿勢ではなく、率先垂範で事を成せるよう引き続きの指導を期待する ・高校側にある職員喫煙所は、小学校の校庭や市道に接しており、受動喫煙の観点からも印象が悪い	
5	部活動・学校行事等の充実・振興	1 部活動の時間の確保 2 委員会活動を奨励して自治意識を育てる 3 生徒の意識を高める学校	1-①活動時間を確実に確保する 2-①協力することにより個々を磨く場とする 2-②地域に貢献できる生徒会活動 2-③地域に貢献できる生徒会活動 2-④地域に貢献できる生徒会活動 2-⑤地域に貢献できる生徒会活動	○優れた活動・成績をあげた生徒を顕彰する ○高校生との活動を行い母校愛を育てるを実施する	・朝礼等の時間に各種の賞に輝いた生徒を全校の前で顕彰した ・クリーン作戦を2学期に実施する	B	・週に2回以上部活動を行えるように行事を精選する ・学校行事に生徒が主体的に取り組めるよう指導する	・心身共に成長期、部活動の充実を期待 ・クリーン作戦は、地域貢献やアピールのためにも確実に実行してほしい ・励ましや顕彰は励みになり大きな成長につながる	